

学校施設等の防災・減災対策の推進に関する調査研究協力者会議（第1回）

令和3年12月9日

1. 日時 令和3年12月9日（木曜日） 10時00分～11時30分
2. 場所 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンラインにて開催
3. 議題
 - （1）学校施設等の防災・減災対策の推進に関する調査研究について
 - （2）学校施設の水害対策検討部会の設置について
 - （3）その他
4. 出席者
（委員）木内望，清田隆，楠浩一，佐藤健，清家剛，中埜良昭（敬称略）
（特別協力者）齋藤福栄（敬称略）
（文部科学省）
【大臣官房文教施設企画・防災部】下間文教施設企画・防災部長，笠原技術参事官，
野口参事官，小林参事官付災害対策企画官，
早田参事官付専門官，田中参事官付参事官補佐
5. 議事要旨（○：委員発言）
 - （1）学校施設等の防災・減災対策の推進に関する調査研究について
 - ・下間文教施設企画・防災部長より挨拶。
 - ・事務局より、資料1に基づき本会議の設置要綱、資料2に基づき本会議の運営、資料3に基づき主な検討事項について説明し、原案のとおり決定した。
 - ・委員の互選により、中埜委員が主査に選任された。
 - ・中埜主査から、清家委員が主査代理に指名され、了承が得られた。
 - ・事務局より、資料4に基づきこれまでの学校施設の防災対策の取組について説明を行った。
 - ・各委員及び特別協力者より、自己紹介を行った。
 - （2）学校施設の水害対策検討部会の設置について
 - ・事務局より、資料5に基づき本会議に学校施設の水害対策検討部会を設置し、部会は非公開の下、専門的に検討を進める旨を確認し、原案のとおり決定した。
 - ・事務局より、資料6に基づき学校施設の水害対策の検討について説明を行った。

- ・ 部会長に木内委員を選任することについて、了承が得られた。
 - ・ 学校施設の水害対策における論点について、各委員より発言があった。
- 水害後の復旧の判断を、この機会に検討してはどうか。湿気が残り、カビが発生すれば、児童生徒の健康が害されるのではないか。今回は、あくまで水害の被害を受けないことをメインで検討するとのことだが、被害を受けた際にどう対処するか、学校を再開するに当たり、手順の確認や不足している部分について、議論を進める機会にしてほしい。
- 「水害」という言葉の定義について、今回の水害対策の部会はいくまで浸水のみを検討するのであれば、表現を再考するか、豪雨による浸水という断りを入れた方が良いのではないか。水害は水による災害全般を指す言葉であり、土砂災害も含まれるので外部の方に勘違いされる可能性がある。
- 検討の全体像について、子供たちの安全の確保と、学校教育活動の早期再開の実現の2点を掲げられているが、命を守るということはもちろん、もう一方の学校教育活動の早期再開というのは重要な観点だと思う。例えば、宮城県教育委員会では、学校再開ハンドブックを作成しており、学校管理者がどのタイミングで何をすれば、早く学校再開につながるかをまとめている。今回のこちらの会議体での成果物は、全国の学校現場にとって、学校の早期再開のために、大変意義のある成果物になると思う。

(3) その他

- ・ 事務局から、今後のスケジュールを説明し、会議を終了。

— 了 —